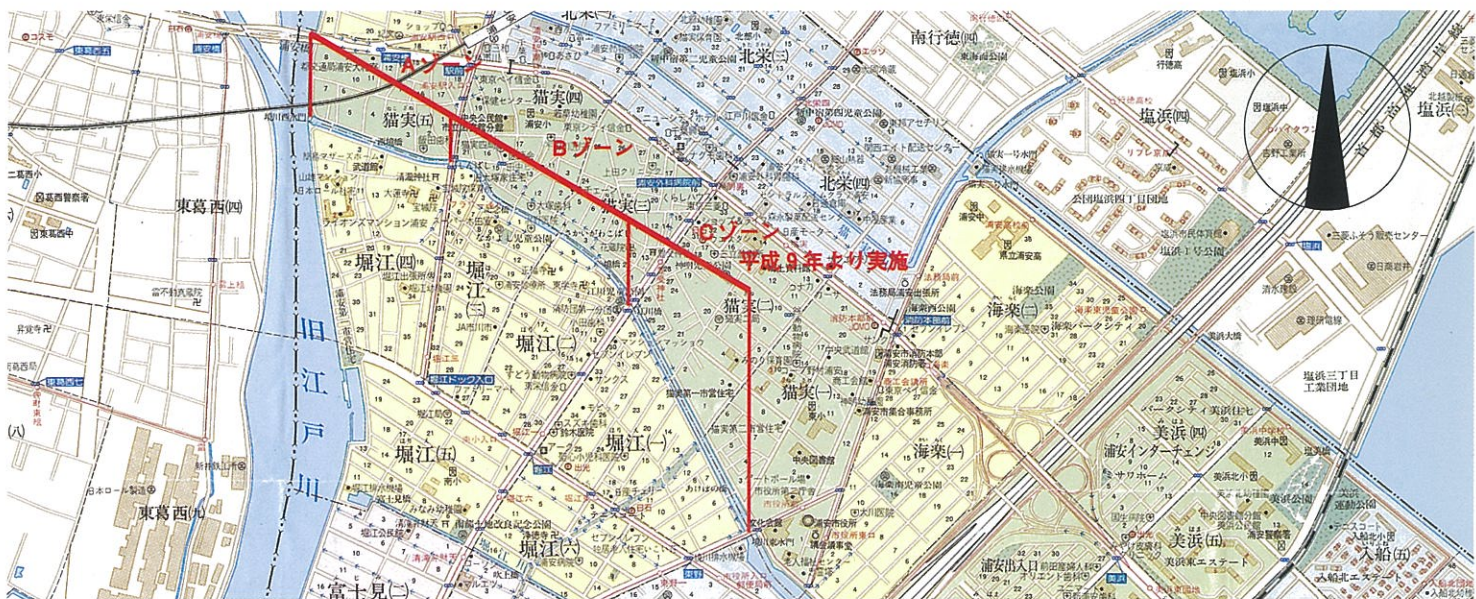


防護柵及び照明柱デザイン図 S=1/30



●お問い合わせは 浦安市建設部土木課 TEL 047-351-1111 (代表)

発行：浦安市建設部土木課 編集・模型写真提供：小野寺康都市設計事務所 印刷：総合印刷新報社

●許可なく転載を禁ずる



# 境川水辺空間整備事業

浦安市  
千葉県葛南土木事務所



### 経緯

境川は、浦安市の北西部に位置する全長4.75kmの一級河川です。かつてこの川には、「べか船」と呼ばれる船が川面を埋め尽くすばかりに並び、岸辺は活気にあふれていました。しかし産業の変遷とともに今では建物も川に背を向け、子供たちが魚を捕って遊ぶこともなくなりました。このような川は現在全国の多くの市街で見ることができます。

しかし境川のふるさと風景はまだ人々の心の中に生きています。この川を、生活を豊かにするアメニティ（快適）空間としてふたたび市民のもとに取り戻そうとする試みが、境川水辺空間整備計画です。治水・安全という基本的な課題を踏まえた上で水辺空間を見直し、市民のコミュニケーションスペースとして新たな役割を担って再生する事業です。

この計画は、平成元年度より本格的な検討が始まりました。旧江戸川から境川東水門間を対象として3つのゾーン、①Aゾーン（旧江戸川から新橋間）、②Bゾーン（新橋から江川橋間）、③Cゾーン（江川橋から境川東水門間）に分かれています。

この度、Cゾーンへの工事が実施されることになりました。

### 境川水辺空間整備計画の基本的な考え方

A～Cゾーンを通じて、境川水辺空間整備計画の基本的な考え方は次のようなものです。

整備テーマ：舟の浮かぶ水辺のコミュニティ空間の創出

1. 水辺をコミュニティの中核として再生する
  - 水辺を表空間に・大家族としてのまちづくり
2. 旧市街のコミュニティ軸として活性化を図る
  - 歴史性を考慮した落ち着いたデザインでありながら、生活を活性化する新鮮な風景の創出

### 3. 市民の環境資産となる質の高い空間を作る

— 豊かな緑陰を持つ美しい水辺のかたち

### 水辺の基本構成 — コミュニティを形成するテラスと小段

境川Cゾーンでは、落ち着いて水辺を歩ける歩道の整備をおこないます。現況のコンクリートの擁壁を取り除き、水面に視界をひらきます。

もっとも特徴的なのが、水辺に張り出すテラスと小段の組み合わせです。テラスは水辺で休めるくつろぎのスペースです。桜並木が木陰を与え、眺めのいい位置にベンチが置かれます。テラスのバリエーションはさまざまですが、すべて川を挟んで向かい合っています。これは境川が地域のコミュニケーション軸となることを意図しているためです。対岸にいながらお互いの顔の表情がわかる、声をかければ楽に通じる、この境川で、個々のスペースが独立した「核家族」的な千鳥配置より、浦安・境川には「大家族」の空間がふさわしいと判断した結果です。

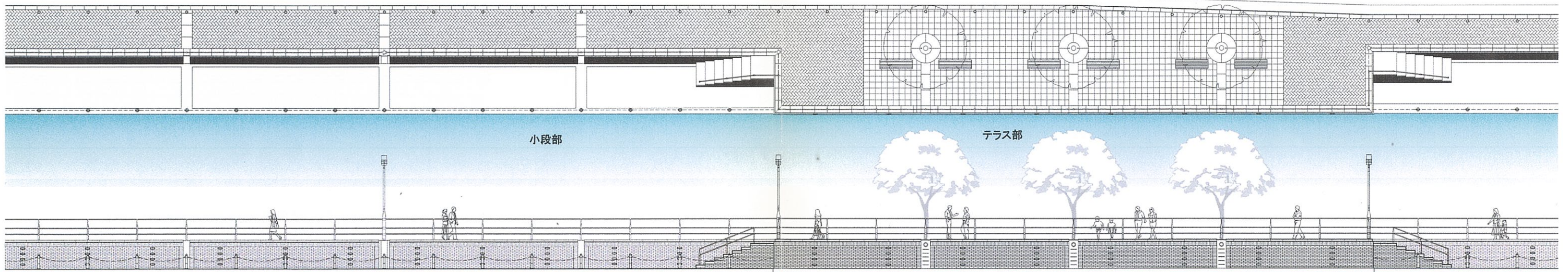
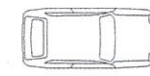
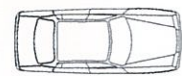
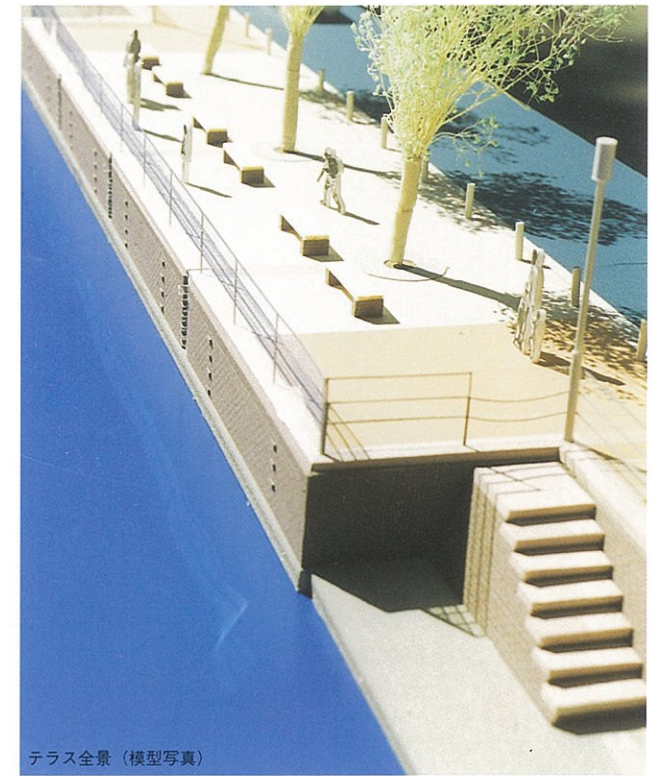
### 境川の素材とデザイン

境川には塗り物張り物といった「化粧」は使いません。自然石、レンガ、鉄、コンクリート等、本物の材料が質感豊かに積上げられ敷き詰められます。

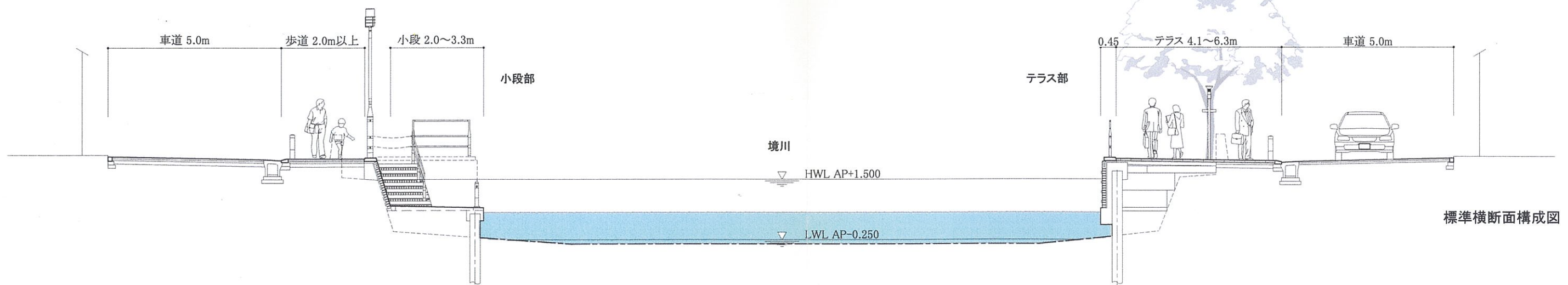
護岸材料は、多くの候補の中から数種類に絞り込み、実際に現場に一部を設置して景観や耐久、風雨での変化を試験した結果、特製の国産レンガに決定しました。

歩道の舗装には、明るい表情のレンガを、自然石と組み合わせて敷き詰めます。テラス部にはさらに、貝殻を砕いたソイルセラミックスを使います。これは、かつて漁村だった往時の風情を現代に伝えようとするものです。

手摺り・照明柱も境川のために特別にデザインされました。風景に味わいを与える形が追求されています。



標準平面・立面図 S=1/200



標準横断面構成図 S=1/120